

平成 30 年 11 月 7 日

会員各位

(一社)姫路薬剤師会 会長 浦上 文男
薬経-30-08 薬局経営部 藤田 佳典

抗がん剤の誤投与防止に関する注意喚起について

平素は本会の事業運営にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

先般、市内医療機関にてヒヤリ・ハット報告があり、保険薬局において当該製剤の誤投与防止のため、疑義照会の徹底、服薬指導の徹底について協力依頼がありました。

抗がん剤であるカペシタビン(商品名:ゼローダ錠)は、その投与に際して、投与量、服薬日、休薬期間等に十分な注意を要する製剤ですが、このたびの患者は、2 週服薬 2 週休薬で本来 14 日分処方されるべき薬剤が 28 日分処方され、保険薬局でそのまま投薬されました。不審に思った患者が処方医に問い合わせをしたところ処方オーダーリングシステムにおける処方日数の選択ミスであったことが判明しました。

今回、大事には至りませんでした。このほかに休薬期間が設けられている医薬品は、抗がん剤等に多く見られ、適切な休薬がない場合には重篤な副作用に繋がる恐れがあります。

今後、同種の事例等の発生を防止するため、保険薬局において投与量、服薬日、休薬期間、投与日数など患者に確認の上、不明な点があれば疑義照会していただき、服薬指導を行うようお願いいたします。

以上